

夢カフェ 合格体験記

☆自己紹介

30 代女性

大学卒業後、鉄道会社に入社し、その後ブライダル司会の仕事をしていました。
勉強に専念するために仕事を 2 年前に辞め、短期で事務の仕事をしながら勉強していました。
今後は気象に携わる仕事をしたいと思っています！

☆気象予報士を目指したきっかけ

鉄道会社で仕事をしていた際に、日々の天気が仕事に影響することが多く、毎日天気予報をチェックしていく中で、天気に興味を持ちました。
そして数年前の新型コロナウイルスの蔓延により、半年先まで決まっていた仕事が全部なくなってしまう、今後の人生を考えるきっかけになりました。
世の中がどういう状況になっても天気の情報に生活する上で必要であり、気象予報士になって誰かの生活に少しでも役に立てる人になりたいと思い、挑戦することにしました。

☆中島先生との出会い

他塾の初級講座に通い始めましたが、理系科目が苦手で全然勉強してこなかったもので、最初から授業についていけませんでした。
途方に暮れていたところ、本屋さんで中島先生が執筆された「よくわかる気象学」を見つけました！
初心者でも分かりやすく書いてあり、本を読みこんでいくうちに授業にもついていけるようになりました。いつか中島先生に直接ご指導してもらいたいなと思っていたところ、オンラインでも実技講座を開講することを知り、夢カフェに入会しました。

☆受験歴

-----他塾の初級講座（オンライン）を受講-----

58 回 一般○ 専門○ 実技×

59 回 一般免除 専門免除 実技×

-----夢カフェの実技講座と中島先生の個人授業(18 回)を受講 -----

60 回 一般免除 専門免除 実技×

61 回 一般○ 専門○ 実技×

-----他塾の実技試験対策講座を受講 -----

62 回 一般免除 専門免除 実技○

☆勉強時間

基本的に1日8時間以上勉強し、仕事がある日などは朝早く起きて勉強していました。

2年半で通算3000時間以上勉強しました。

また寝る前の30分間は暗記や今日勉強した事の復習をしていました。

集中力が続かない性格なので、「1時間勉強→10分休憩」のサイクルで勉強していました。

☆勉強する上で心がけていたこと

試験までの日数から逆算して、確実に達成できるスケジュールを立てること

「試験の3週間前までの目標→1か月ごとの目標→1週間ごとの目標→今日すること」という風に無理をしない行動計画を立てていました。

第62回試験に向けて、当日ベストな状況に持っていくために「メンタルを整えること」を第一に、試験の直前はゆるく勉強しながら調整期間にしていました。

【参考】第62回試験に向けての大まかなスケジュール

試験の3週間前までの目標：10年分の過去問の徹底理解（最低3周する）

学科の基礎事項をしっかりと頭に入れること

3月 基礎事項の復習（他塾の講座受講）

4月 42回～49回の過去問を徹底理解、基礎事項の定期的な復習

5月 50回～61回の過去問を徹底理解

6月 42回～61回の過去問2周目&復習

7月 42回～61回の過去問3周目&復習

8月1日～11日 間違えた問題の解法を再度確認

8月12日～18日 作図問題（トラフ、前線、等値線）をまとめて演習
よくわかる気象学（一般、専門、実技）を読み込む
夢カフェの直前対策講座受講

8月19日～23日 基礎事項の再復習（他塾の講座受講）
よくわかる気象学（一般、専門、実技）を読み込む
本番を想定して、61回と60回の過去問を解く
間違えた問題の解法の最終チェック

8月24日 午前中に暗記の確認→午後は勉強せずのんびり過ごしました

8月25日 試験当日

暗記

☆勉強方法

【一般】

①「一般気象学」の内容を隅々までしっかりと理解すること

最初は書かれている内容が難しすぎてびっくりしましたが、勉強を続けていくと理解できるようになります。

難しい表現などは自分なりに分かりやすい言葉で本に書き加えたりしていました。

中島先生も仰っていましたが、本に書かれている内容からほとんど出題されているので、理解を深めることが合格への近道だと思います。

②数式をしっかりと頭に入れること

一般は計算問題が毎回出題されていますが、この問題は何の数式に当てはめて解答すべきかを瞬時に見極める事が大事だと実感しました。

気体の状態方程式、熱力学の第一法則、地衡風などたくさん数式がありますが、皆さんはすぐに頭に思い浮かべることができますか？

もし私と同じように計算問題が苦手な方は、数式を整理してみると良いかもしれません。

③法律問題の4点は確実に正解できるようにすること

ここを落とすのは本当に勿体ないです！

難しい言い回しなどは自分なりに分かりやすい言葉に書き換えていました。

また過去問でよく聞かれる条文には印をつけて頭に叩き込んでいました。

【専門】

①気象庁HPの「知識と解説」をできるだけ隅々まで読むこと

過去問を解いていると、これ教科書に載っていないという問題が出てきます。

そういう時は「知識と解説」に載っていることがほとんどだと思います。

私は比較的時間があつたので、隅々まで何度も読んで、教科書に載っていない内容だけノートにまとめていました。

時間がない方は過去問で出た内容だけでもHPで確認しておくの良いかと思います。

②よくわかる気象学（専門知識編）の内容を隅々までちゃんと理解すること

専門の参考書はこの1冊のみで勉強しました。

専門は一般と比較して暗記することが多いと思いますが、気象観測や数値予報など図を用いながら分かりやすく記載されているので、頭に入りやすかったです。

例えばウィンドプロファイラやドップラーレーダーなど内容が混同しそうな箇所は自分も簡単に図に書いてみて、違いを理解していました。

【学科共通】

①過去問を徹底的に理解すること

10年分の過去問を3周し、その後は間違った問題のみひたすら解いていました。

解く際に、1つ1つの選択肢でここが正解、ここが不正解という自分なりの根拠を明確にして解くようにしていました。

復習する時も解いた時に導き出した根拠と相違ないかを確認していました。

過去問を解いていると選択肢で迷うことがあったのですが、理解度が深まると初見の問題でも迷うことが少なくなりました。

②できるだけ解説を読まずに自分で解法を考えること

中島先生から「最初から解説を見ずに、まずは自分で解法を考えた方が力になりますよ」とアドバイスをいただき、実践していました。

苦手な計算問題を何度も解いたり、参考書や気象庁のHPで調べて自分なりに解法を考えていました。それでも分からない問題は個人授業で中島先生に質問していました。

この勉強法を続けていくと、最初は模擬試験で6点くらいしか取れていなかったのですが、最終的には11点以上取れるようになりました。

③まとめノートを作成しない

勉強を始めた時は、まとめノートを作成していましたが、作成することに満足してしまい、あまり見ていませんでした。

常に参考書を見て勉強していたので、過去問や気象庁HPなどで参考書に載っていない知識に関して、自分なりに分かりやすい言葉で参考書に書き加えていました。

参考書を見れば全て理解できる状況にしていたので、復習の際に非常に役立ちました。

【実技】

実技の壁を突破するのに本当に苦労しましたが、第 62 回試験に向けて勉強方法を見直したので、ご紹介します。

①学科の基礎知識をしっかりと頭に入れること

実技試験は基礎知識を応用した問題が出ます。

第 61 回試験を振り返って、基礎問題で何点か失点しており、今までここでしっかりと点数を取れていないことが不合格の 1 つの原因ではないかと思いました。

基礎問題は確実に点数を取ることを目標に、基礎知識をしっかりと理解することに時間を費やしました。

まず、他塾の講座で基礎知識を再復習しながら、毎日 30 分ほど参考書を読み込む時間を作りました。

次に、個人授業で中島先生にいただいた学科のミニテストを單元ごとに何度も解いて復習していました。

第 62 回試験でも温度移流の強弱、温度風、雨に関する気象用語、警報など基礎知識力があれば解ける問題が多く出題されていましたが、確実に点数を取ることができました。

②2 度と間違えないように過去問を徹底的に理解すること

第 62 回試験に向けて勉強している中で、ある方より「2 回目も間違える問題は全く勉強していないのと同じ」と言われ、ハッとさせられました。

恥ずかしながら、今まで 2 回目間違えても仕方ないくらいの気持ちで勉強しており、何よりも過去問を何周できるかに注力してしまい、しっかりと復習ができていなかったと反省しました。

そこから心を入れ替え、次回間違えないために、1 つ 1 つの問題の解法をしっかりと理解することに注力し、洗い出した疑問点がゼロになるまで復習をしていました。

また、まとめノートは作成せず、添削してもらいながら、解答用紙に解法などを書き加えて、定期的に見直す時間を作っていました。

復習にはかなり時間がかかりましたが、続けていくうちに、過去問の理解度が深まりました。さらに、初見の問題を解く際にも今までの解法から応用して考えることができたりと、解き方の幅が広がり、徹底的に理解することの大切さを実感しました。

③模擬試験の自宅受験の仕方を工夫すること

遠方に住んでいたのも、模擬試験を自宅で受験していました。

夢カフェの模擬試験は毎月開催されていて、基礎的な内容から応用した問題まで幅広く出題されているので、受験生の皆さんに毎月受験することをオススメしたいです。

自宅受験だったという事もあるって、試験当日は狭いスペースの中で、初めましての受験生に囲まれるので、周りの事が気になってしまい、余計に緊張していました。

そこで、中島先生のアドバイスを基に、ブックカフェ・コアワーキングスペースなど勉強が許可されている場所で模擬試験を受験していました。

BGM が流れていて、人も近くにいるという環境の中で、わざと狭いスペースを選び、どんな状況でも自分が最大限集中できるように訓練していました。

何度も繰り返し訓練をしていくうちに、周りのことが気にならなくなり、試験当日もしっかりと集中することができました。遠方にお住まいの方は、良ければ参考にしてみてください。

☆第 62 回試験の感想

実技 1…基本的な問題が多かったので、見直しをする時間を確保することができました。

ケアレスミスで失点しないように、穴埋め問題、距離や移動速度の計算問題などを中心に見直していました。

実技 2…後半の問題は難しく感じ、題意がつかめない問題もありました。

時間はギリギリで、最後まで解きましたが、難しい問題はきっと他の受験生もできてないと開き直って、余分に時間を費やさないようにしていました。

問題文が長くても図に書いてみたりすると解ける問題もあったので、難しく感じても最後の 1 秒まで諦めずに解きました。

結果がどうであっても勉強を続けると決めていたので、今回は自己採点をしていません。

合格発表後に自己採点をしましたが、実技 1 が 85 点、実技 2 が 54 点で、平均 69.5 点でした！今回の合格点が 66 点だったので、実技 1 にかなり助けてもらった結果になりました。

☆さいごに

勉強を始めた時は内容が難しすぎて、合格するなんて絶対無理だと思っていました。

ある日、本屋さんで中島先生の本に出会ってから少しずつ理解できるようになり、夢カフェでは講座や個人授業でたくさんお世話になりました。

中島先生は優しく正直な方なので、自分のできていない所など厳しいこともちゃんと言っていただきました。本当にありがとうございました。

合格することができたのは、家族や友人、先生がたくさん応援してくれたお陰です。

努力を続ければ夢は必ず叶うと思うので、先生方を信じて勉強を頑張ってください！

受験生の皆さんの合格を心からお祈り申し上げます。

この合格体験記が少しでもお役に立てたら嬉しいです。